

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	関西医科大学大学院医学研究科(博士課程)						
教育プログラム・コース名	特定集団特化型がん緩和医療コース(正規課程)						
対象職種・分野	医学研究科博士課程大学院生(医師、看護師、臨床心理士等)						
修業年限(期間)	4年(ただし、長期履修制度を利用する学生は5年)						
養成すべき人材像	がんサバイバー、家族介護者、遺族といった特定集団に対する治療・ケアを集学的に取り組む人材						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として4年以上在学すること</li> <li>・コースワーク4単位、リサーチワーク26単位以上の計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けたうえで博士論文を提出し、博士論文の審査及び試験に合格すること</li> </ul>						
履修科目等	<p>【コースワーク】 必修コース(腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)を含む)、選択必修コース</p> <p>【リサーチワーク】 講義、演習、実験・実習、研究・論文作成指導</p>						
がんに関する専門資格との連携	緩和医療専門医(日本緩和医療学会)						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	がん治療と緩和医療の各センターを併設した施設に配属されることにより、がん患者のみならず、がんサバイバー、家族介護者、遺族といった特定集団に適切ながん医療を提供すべく対応方法を体験することができる。緩和ケアセンターでは、心療内科、痛みセンター、健康科学センターとも連携しており、特定集団に対する治療・ケアを集学的に習得できる。特に臨床心理士等と医心連携が整っており、特定の集団に対する早期からの専門的緩和ケアの教育として身体症状・心理特性の調査、集団心理療法等の治療・ケア等を経験し、現在実施している研究を学びながら自身の研究をまとめていくことが可能である。						
指導体制	<p>【コースワーク】 該当科目担当教員、腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)・腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)は関連5大学の講義担当教員</p> <p>【リサーチワーク】 内科学第一講座、小児科学講座、外科学講座、脳神経外科学講座、産科学・婦人科学講座、放射線科学講座、病理学講座、心療内科学講座に所属する各大学院教員が担う。</p>						
修了者の進路キャリアパス	本学附属病院、及び地域の関連病院において、がんサバイバーに対するケアを担うがん専門医療人として、地域医療の促進及び後進の育成に努める。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	関係講座における過去の大学院生の受入実績をもとに設定。						